

はくぶつかんネット

第8号

～ GINOWAN MUSEUM ～



▲ アルゼンチン宜野湾村人会送別記念（1951年11月4日）

2002年

3・4月

奇数月の15日発行
(次号は5月15日)

発行：宜野湾市立博物館
〈TEL〉 098-870-9317
〈FAX〉 098-870-9316
〈ホームページ〉 <http://www.city.ginowan.okinawa.jp/home.nsf>



博物館イメージキャラクター
天女ちゃんと察度

平成13年度 第2回講演会

‘じのーん’の移民たち

宜野湾市の出身

講演会・移民体験談

講師：仲地 哲夫（沖縄国際大学教授）

体験者：座喜味成秀（アルゼンチン移民体験者・野嵩出身）

2002年

3月30日(土) 午後2時～3時30分

★入場無料/対象は中学以上

世界のウチナーンチュ大会が開催されるほど、日本の中でも沖縄は移民の多い県に入ります。ここ宜野湾市でも多くの方が移民なされており、世界中で活躍しています。移民もまた宜野湾市の歴史を語る上で欠かせない存在なのです。しかし、宜野湾市では移民調査がそれほど行われておらず、博物館にも移民に関する資料がほとんどありません。そこで今回の講演会「じのーんの移民たち」を開催し、関心を高め今後の調査や資料収集につなげていきたいと考えています。ちなみに「じのーん」とは方言で「宜野湾」のことです。

今回の講演会では、仲地哲夫先生（沖縄国際大学教授）から移民の概要や宜野湾市の移民調査の話などをお伺いします。また市出身でアルゼンチン移民を経験なされた、座喜味成秀さん（野嵩出身・現在90歳）から移民先アルゼンチンでの話やそこでの移民の様子、移民前後の沖縄についてお話をさせていただくことになっています。

実際に移民を体験なされた方ならではの貴重な話や、これから宜野湾市での移民調査をどのように行っていけばいいか、など移民について考えるいい機会です。ぜひ足をお運びください。

わらば一体験じゅく

「第2期わらば一体験じゅく」 全日程修了！

平成13年6月にスタートした、第2期わらば一体験じゅくも3月9日の「沖縄そば&ムーチャーづくり」をもって、無事全日程を修了しました。

沖縄そばは小麦粉でめんを作りましたが、生地をこねるのが足りなかったのか、のぼすのが足りなかったのか、めんは太く固くなってしまい、メンバーには不評でした。それでも自分たちで作ったからか(あるいはお腹がすいていたからか)、ほとんどのメンバーはそばを残さずに食べていました。一方ムーチャーはとてもうまく出来上がり、家族へのおみやげに大人気でした。またあわせて開校式も行われ、佐喜眞館長から「わらば一体験じゅく修了証書」が、メンバー1人1人に授与されました。皆出席者7名には「わらば一名人認定証」が授与され、宜野湾の歴史、文化、自然のものしり名人として認定されました。



▲ 沖縄そば&ムーチャーづくり

「第2期わらば一体験じゅく」 1年間を振り返って

▲ 開校式のもよう

平成13年6月にスタートした「第2期わらば一体験じゅく」は毎月1回のペースで様々な体験を行ってきました。

ざっと振り返ると、6月の開校式と博物館見学ではメンバー全員が初めて出会い、7月の宜野湾めぐりでは市内の文化財をまわり、8月は市の伝統産業であるターンムの植え付け体験を行い、汗を流して働くことの大変さを知り、9月は昔の子どもになってサトウキビをかじったり草花で玩具をつくり、10月には石うすを使った豆腐づくりで食べ物の大切さを知り、11月は貴重な自然が残る大山ターンム畑の観察会、12月は寒さに耐えながらターンムの収穫体験を行い、1月と2月はメンバーに一番好評だった土器づくり、そして3月は沖縄そばとムーチャーづくりを行いました。

体験中は楽しかったり、大変だったり、失敗することもあり、中には台風や雨で延期になったりといろいろな事がありました。それでも各体験とも子どもたちは真剣に取り組み、様々なことを学び、そして楽しい思い出ができたことでしょう。

またわらば一体験じゅくでは、多くの方々にご協力をいただきました。ターンムの植え付けや収穫の体験では大山田いも組合石川重正会長をはじめ、伊佐實雄さん他たくさんの方々にご協力いただきました。昔の子ども体験では山城聖市さん、自然観察会では県立博物館学芸員の嵩原建二さん、豆腐づくりや沖縄そばづくりでは喜屋武菊さん、比嘉文子さん、島崎眞由美さんにご協力いただきました。ありがとうございました。最後に、わらば一体験じゅくのメンバーのみんながこの体験の思い出を生かし、今後活躍することを期待します。

★「第3期わらば一体験じゅく」 6月開校 ★

「第3期わらば一体験じゅく」は平成14年6月にスタートします。これまでの体験学習はもちろん、新たな体験学習を加え、さらに充実した「わらば一体験じゅく」を行っていきます。新メンバーは5月に募集します。わらば一名人を目指すキミの参加を待っています。

企画展 好評開催中！

～なつかしの宜野湾「食と年中行事」～

3月24日(日)まで

もう、ご覧になりましたか？

ただいま、宜野湾市立博物館 企画展示室では、宜野湾の大正時代から昭和初期頃までの「食」と「年中行事」に関する展示会を行っています。

四季折々の「野菜」と「くだもの」の『日常食』

ごちそうの食べられる『行事食』

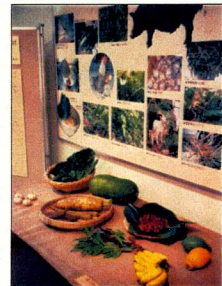
そんな民俗料理の背景として食をになった『民具』の数々

大好評の‘試食コーナー’ではジージキ(漬物)や、ナチョーラ
シンジ(海草の煎じ汁：整腸効果がある)を準備しています。

ご覧になった方々は、みなさん「昔、母から聞いていた事を実際見ることができて、満足している。(20代女性)」「同じ宜野湾市内でも、年中行事の供え物ややり方が違うことがわかり参考になった。(30代女性)」「沖縄の食文化のすばらしさを、あらためて感じました。(50代女性)」「なつかしい。子どもの頃を思い出した。(60代男性)」と、とても喜んでいただきました。

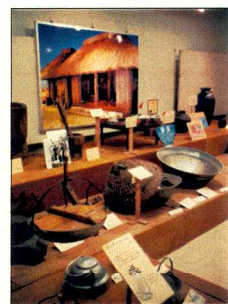
郷土の文化に触れる、またとない機会です。

まだご覧になっていない方はお見のがし無く！



▲ 沖縄の食材

思わず手を伸ばしてしま
うほど本物そっくり



▲ 食にまつわる民具

企画展「なつかしの宜野湾～食と年中行事～」記念講演会の報告

どう食べるか？沖縄の食のこれから ～健康日本21をうけて～



▲ 記念講演会の様子

これを機に日頃の食生活を見直そう
という感想もありました。

企画展開催記念として、オープニングセレモニーの後、講演会を行いました。

講師は、友利知子先生(沖縄女子短期大学非常勤講師・料理研究家)です。「どう食べるか？沖縄の食のこれから」～健康日本21をうけて～と題し、沖縄の食の成り立ちや問題点について、わかりやすくお話していただきました。

また、今回市民を対象に調査した「沖縄料理の好き嫌い・理解度」のアンケート結果より、好かれていない沖縄料理の
おいしい調理法も提案していただきました。

この講演会のビデオを、企画展開催中、ビデオコーナーにてご覧になれます。

また、アンケート調査の集計結果も展示しています。

さて、一番人気のある沖縄料理はいったい何だったと思いますか？答えは、ご覧になってからの
お楽しみです。 ぜひ、いらしてくださいね。

平成13年度の事業あんない

月	日	曜日	内 容	期 間
2	17	日	企画展「なつかしの宜野湾 ～食と年中行事～」	3月24日まで
3	30	土	第2回 講演会「じのーん(宜野湾市)の移民たち」 講師：仲地哲夫(沖縄国際大学教授) / 体験者：座喜味成秀(「ALICE」移民体験者)	午後2時～ 3時30分

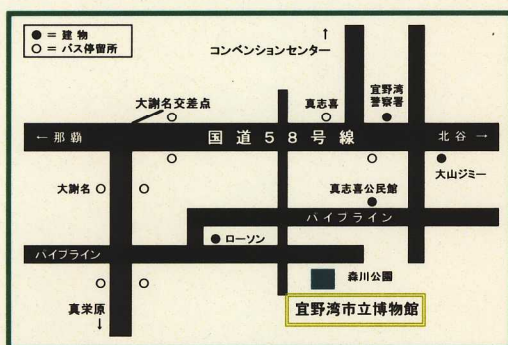
平成14年度の事業あんない

5月	第1回講演会「闘牛について(予定)」
6月	第3回 新収蔵品展 第3期 わらばー体験じゅく開校(来年2月まで)
8月	企画展「海と人々(仮名)」
9月	平成14年度 市内小中学生文化財図画作品展 館内燻蒸 ※臨時休館日
10月	第2回講演会「宜野湾市の洞窟(予定)」
12月	第3回講習会「しめ縄作りもしくはパーキ作り(予定)」
1月	第4回講習会「古酒のつくり方(予定)」
2月	企画展「戦後展(仮名)」

※ 日時や内容は未定のものがありますので、変更に関してはご了承ください。

◎ 詳しい日程や内容については、事業開催1ヶ月前にチラシや市報、新聞・雑誌の情報欄、はくぶつかんネットなどに掲載いたします。

◆宜野湾市立博物館の案内◆



△ 大型バスの駐車スペース有り

〒901-2224

沖縄県 宜野湾市 真志喜 1-25-1

TEL : 098-870-9317

FAX : 098-870-9316

ホームページ : <http://www.city.ginowan.okinawa.jp/home.nsf>

◎ 開館日・時間

平日、土、日曜日の
午前9時～午後5時

※ 入館は午後4時30分まで

◎ 休館日

火曜日、祝祭日、慰霊の日(6月23日)、
年末年始(12月29日～1月3日)

※ その他、くん蒸による臨時休館日あり

◎ 常設展示室 観覧料

	大人	高校・大学生	小・中学生
個人	200円	100円	50円
団体	150円	50円	30円

※ 団体は20名以上から

